

**DH SYSTEM**

大日本塗料株式会社

商品番号 1803

エポニックス#10上塗

1. 一般名 エポキシ樹脂上塗塗料
2. 規格 社内規格
3. 特徴 1) 耐酸性、耐アルカリ性など耐薬品性にすぐれている。
2) 耐水性、物理性にすぐれている。

4. 塗料性状

項目	内容				
容姿	2液性				
荷姿	16kgセット(主剤:12.8kg、硬化剤:3.2kg) 4kgセット(主剤:3.2kg、硬化剤:0.8kg)				
色相	白、各色				
光沢	つや有り				
密度 (23℃)	塗料	1.27(白)			
	揮発分	0.85			
加熱残分	61%(白)				
乾燥時間	温度	5℃	20℃	30℃	40℃
	指触	3時間	1時間	30分	20分
	半硬化	24時間	8時間	6時間	4時間
標準膜厚	30μm				
引火点	SDS参照				
発火点	SDS参照				
爆発限界(下限~上限)	SDS参照				

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

5. 塗装基準

項目	内容				
下地処理	—				
調合法	主剤:80部、硬化剤:20部(重量比)				
可使用時間	5℃	20℃	30℃	40℃	
	48時間	24時間	12時間	4時間	
塗装方法	刷毛塗り、エアレス塗装、エアスプレー				
使用シンナー	エポニックスシンナーA				
塗 装 法	塗装方法	刷毛塗り		エアレス塗装	
	希釈率	0~5%		5~10%	
	標準使用量	0.12kg/m ²		0.16kg/m ²	
	標準膜厚	30μm		30μm	
	ウェット管理膜厚	100μm		100μm	
エアレス塗装条件	1次圧0.4MPa(4kg/cm ²)以上 2次圧12MPa(120kg/cm ²)以上				
	チップNo.163-515~715				
塗装間隔	温度	5℃	20℃	30℃	40℃
	最小	24時間	16時間	12時間	10時間
	最大	14日	7日	7日	5日

注) 標準使用量は被塗物の形状や塗装条件によって異なる。

6. 施工上の注意

- 被塗面の油・湿気・じんあい、水分、その他の有害な付着物は完全に除去する。
- 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分攪拌して均一な塗料状態にする。混合比を間違えると十分に塗膜性能を発揮しないばかりか、塗膜が硬化しない事がある。
- 主剤と硬化剤を混合した後は、可使用時間以内に使い尽くすこと。
- 余り塗装間隔が長くなると密着不良となる。規定範囲内で塗り重ねを終わるようにすること。尚、規定以上経過した場合は塗膜表面をサンドペーパー等にて研磨し、更にウエスにて拭いて調整してから塗装すること。
- 希釈には必ずエポニックスシンナーAを使用すること。
- 塗装終了後の使用機器は直ちにエポニックスシンナーAで十分洗浄する。一度硬化すると再びシンナーでは溶解しなくなる。

7. 関連法則

	主 剤	硬 化 剤
危険物表示	第4類第2石油類	第4類第2石油類
有機溶剤区分	第2種有機溶剤含有物	第2種有機溶剤含有物
有害物質表示	SDS参照	SDS参照
劇物表示	—	—

ホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆

8. 使用上の注意【警告】

- 安全情報に関する内容は、SDSをご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。

2023.06

本書類の内容は予告なしに変更を行うことがあります。